

中学生

ストーリー

「+- (プラスマイナス) 私たち。」



こんにちは
私は絵美です！

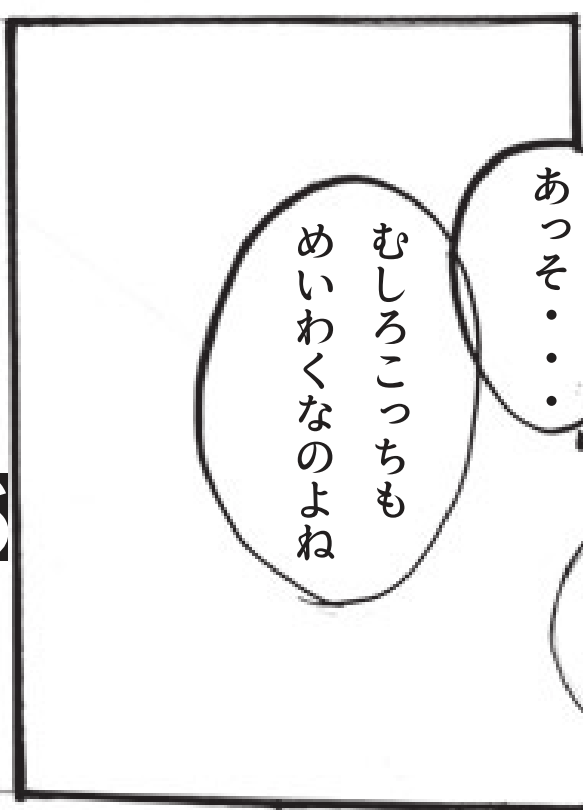


けどこれのせいで
友達も
いない...





大嫌い!!



「変な子の母親。」
「殺される。」



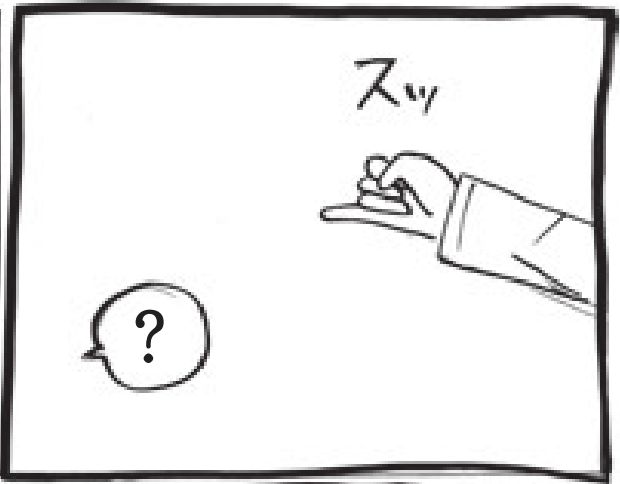
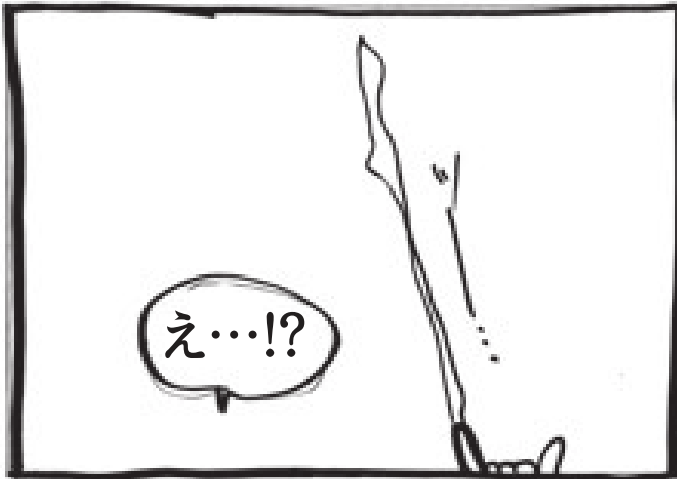
S
中学生
ストーリーの部





S
中学生
ストーリーの部









S
中学生
ストーリーの部



【コメント】「+-私たち。」というタイトルが素敵ですね。絵も可愛い。トーンの貼り方もいい感じです！
 (でも途中でなくなっちゃったのかな?) ラストページの「もちろん!!」のコマが感動的。この先の「+」
 「-」の二人の活躍が見たいです。ぜひ描き続けてくださいね。

「不思議な転入生」



こんにちは。
華といいます。



しゃべるのが
にがてな
小学6年生です。

え、今日は
転入生がきて
います。



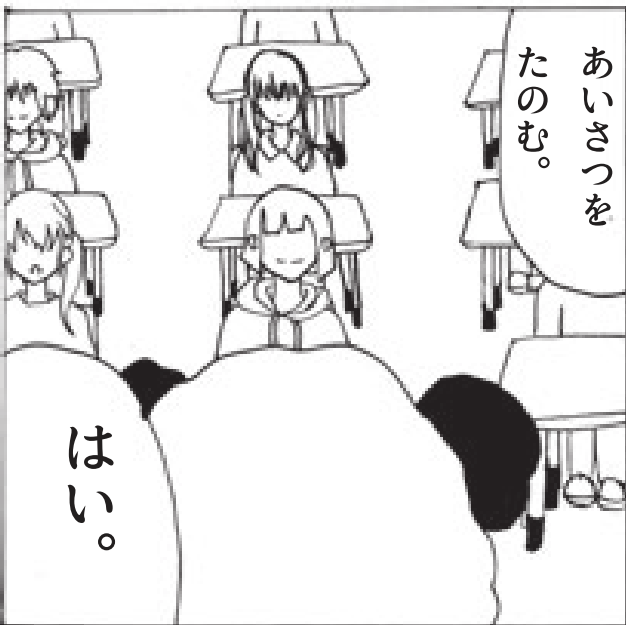
ひっこしてきた
子です。

よし、
入っていいぞ。



あいさつを
たのむ。

はい。

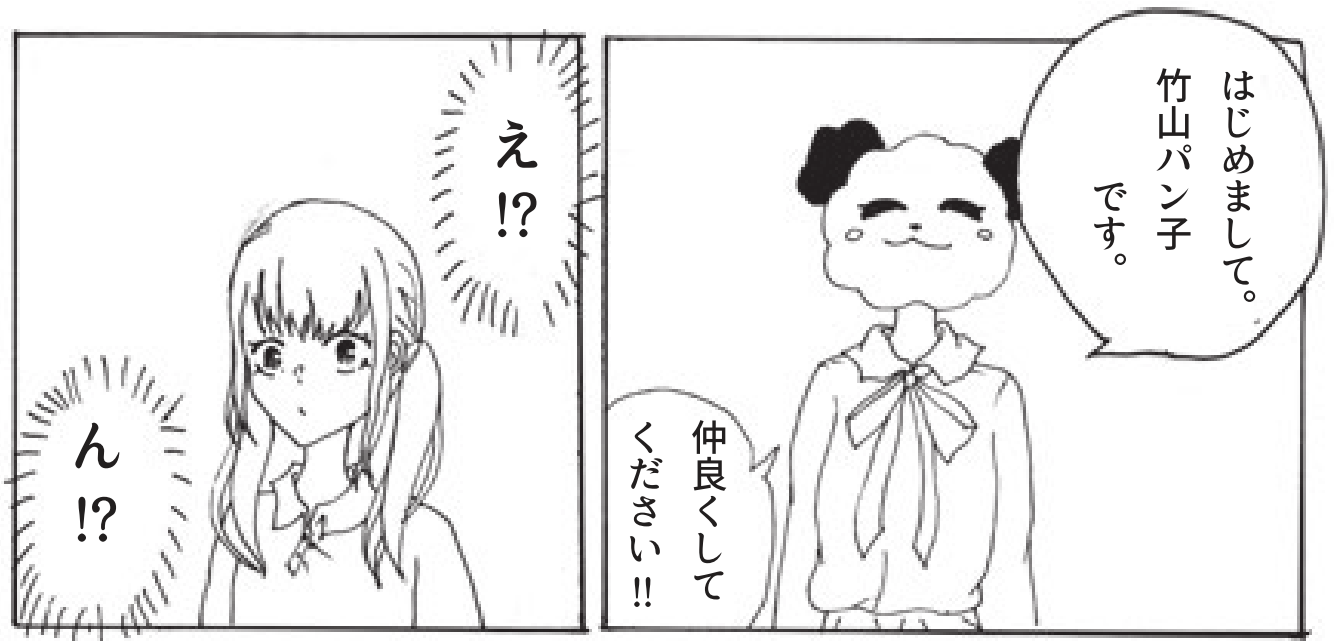


...



S

中学生
ストーリーの部



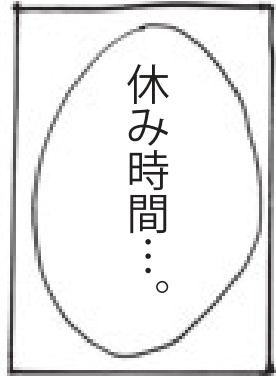
S 中学生 ストーリーの部



わからないこと
あったら
きいてね!!

ねえ
いつしよに
はなそ?

えろ
かわいいね!!



休み時間...



えろ
そうだなろ



好きな食べ物
なあに?



え
笹!?!
!?!

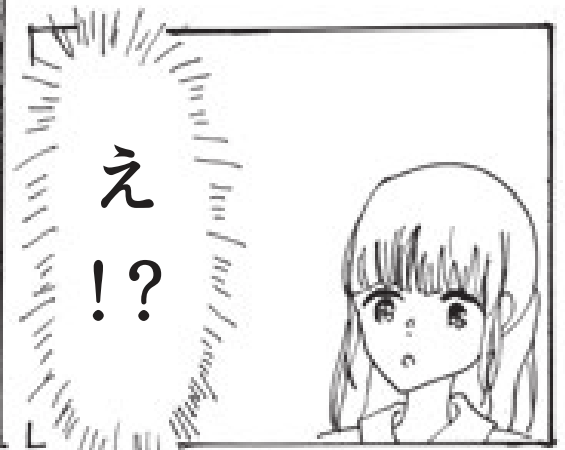
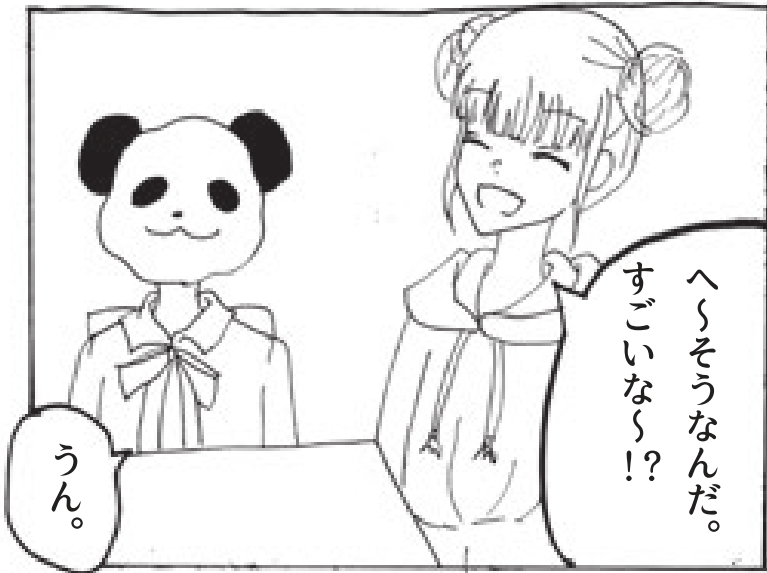


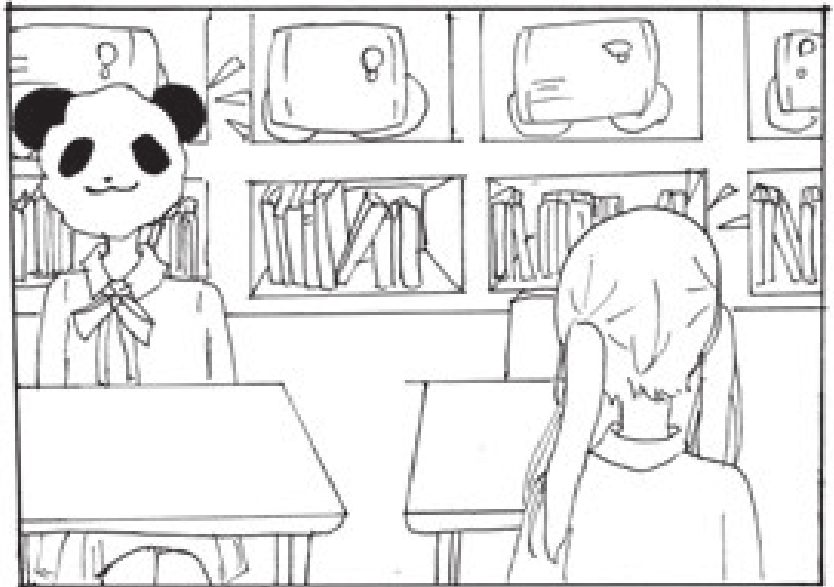
笹
かなあ

S

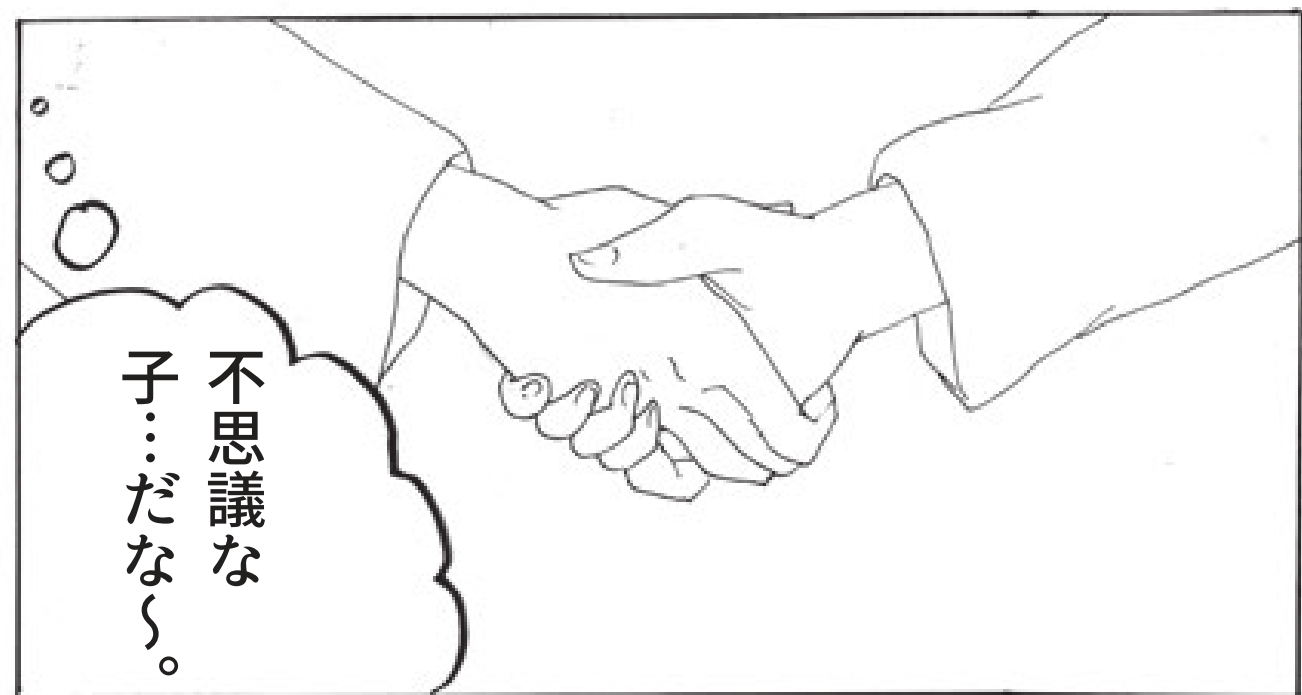
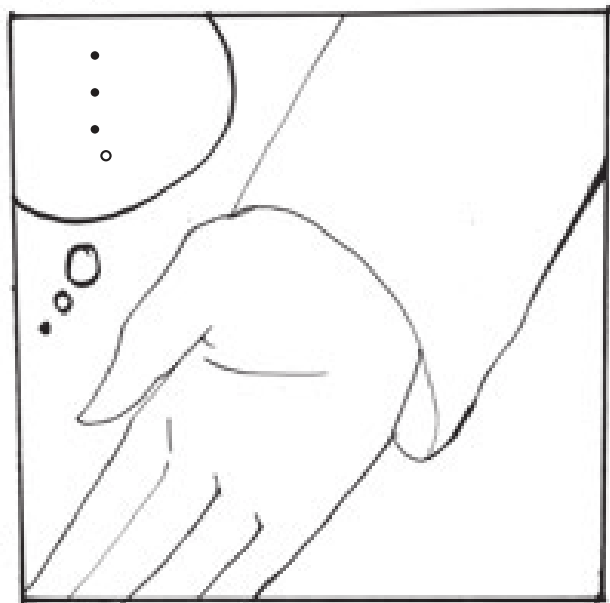
中学生
ストーリーの部







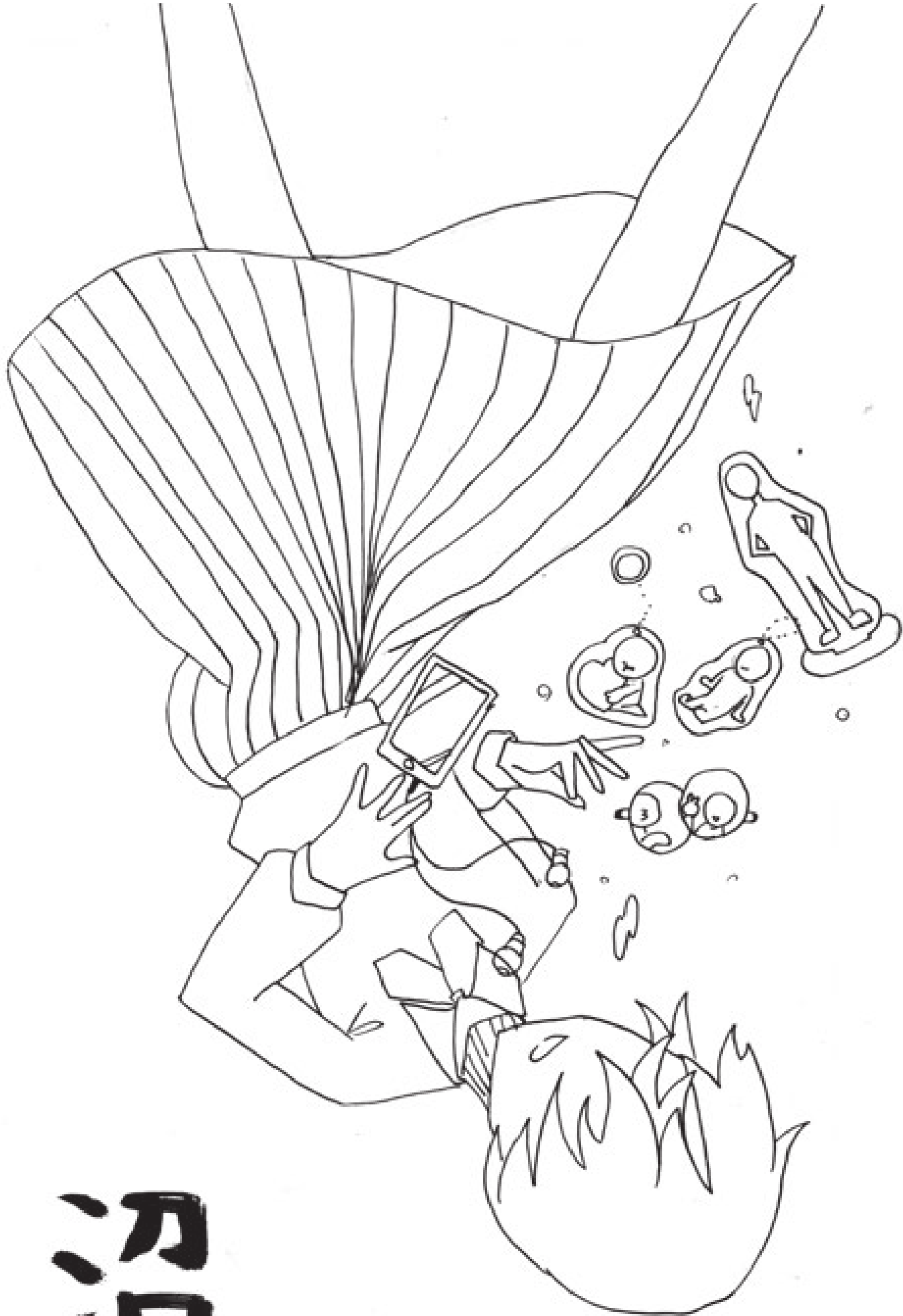
【コメント】「転入生ってどんな子なんだろう?」と、主人公の華ちゃんと一緒になってワクワクドキドキしながら読みました。冒頭の転入生登場の「つかみ」(読者の気持ちを惹きつけること)はバッチリですね。



【続き】「欲を言えば、たとえば「パンダだと思っおもたら実じつは…」など、もう一展開あるとより面白おもしろくなったと思おもいます。キャラクターの表情ひょうじょうがイキイキしてよかったです。

S

中学生
ストーリーの部



沼

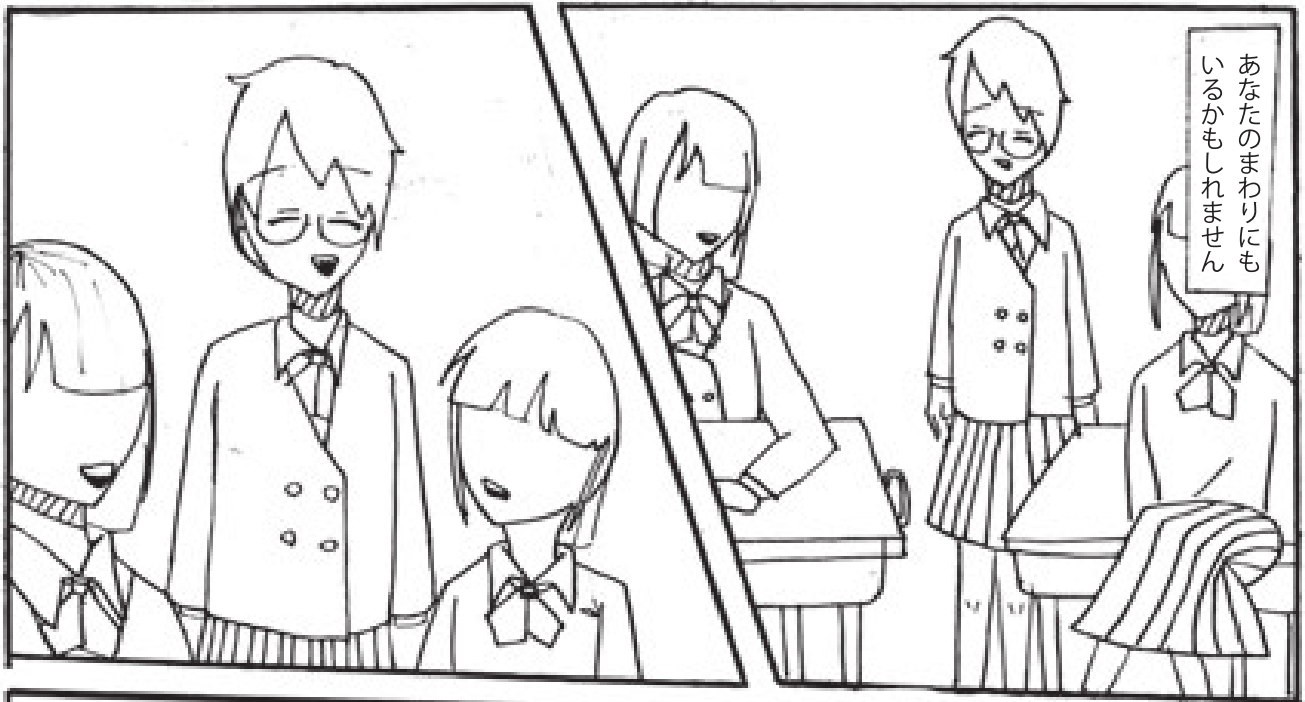


中学生

ストーリーの部

学年：1年生 ペンネーム：監督生

「沼」

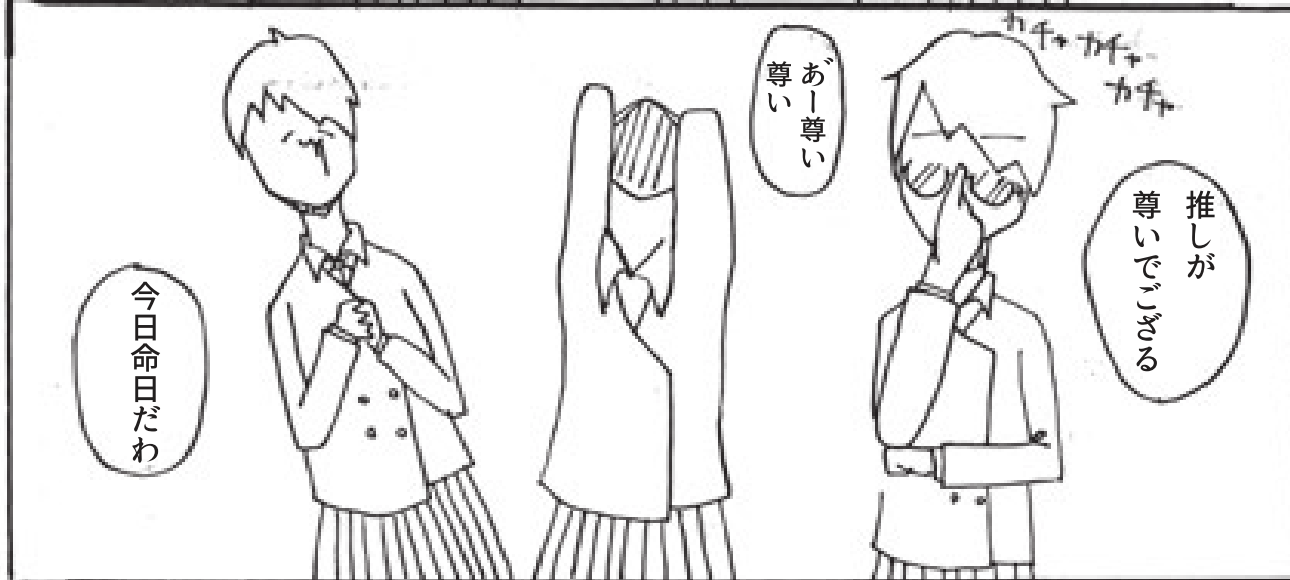
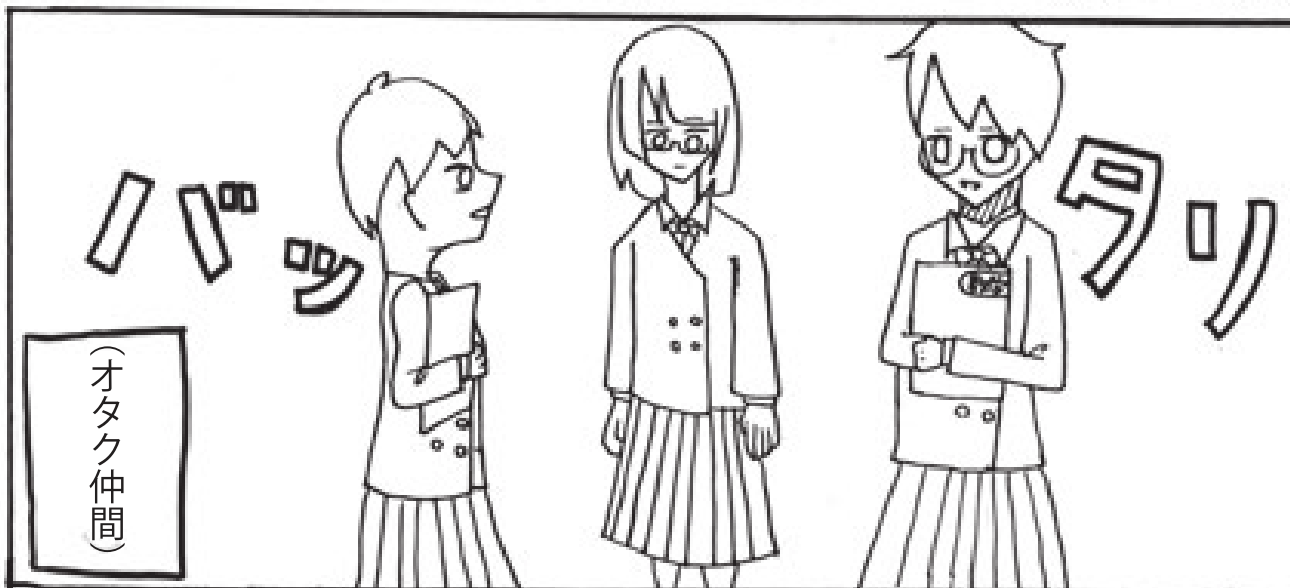


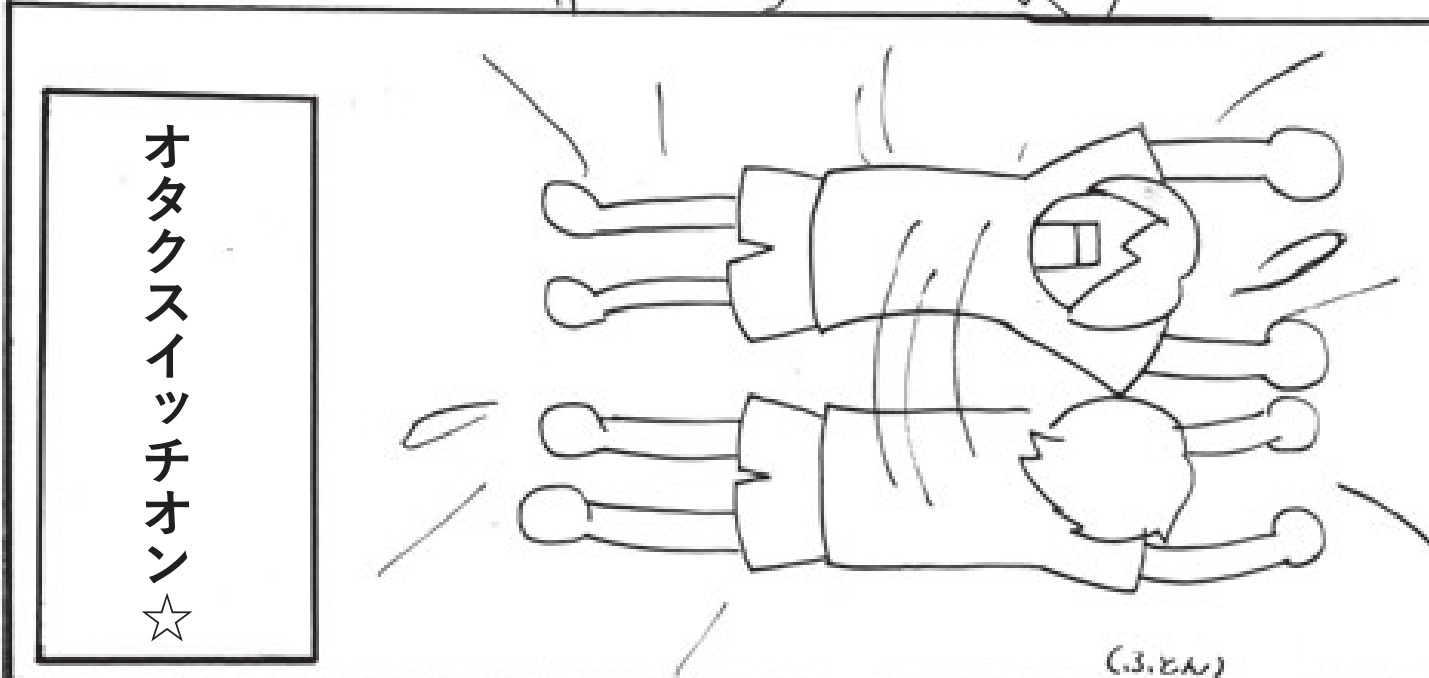
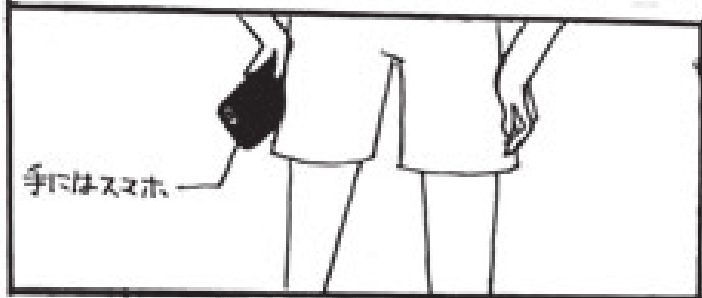
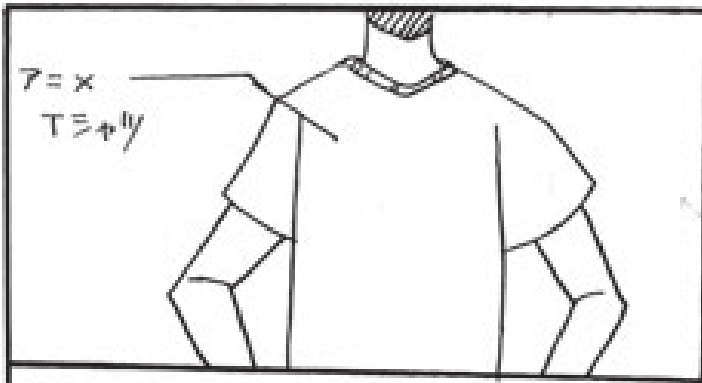
あなたのまわりにも
いるかもしれません

推しが尊い

オタクな女子が

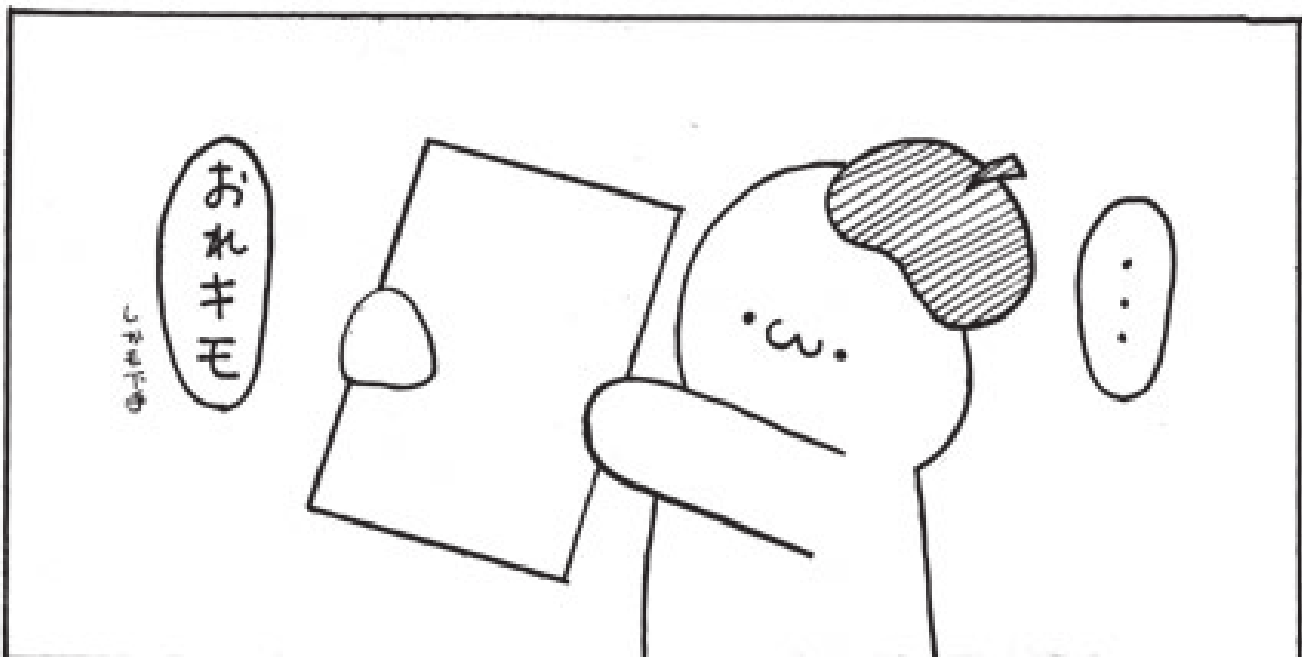
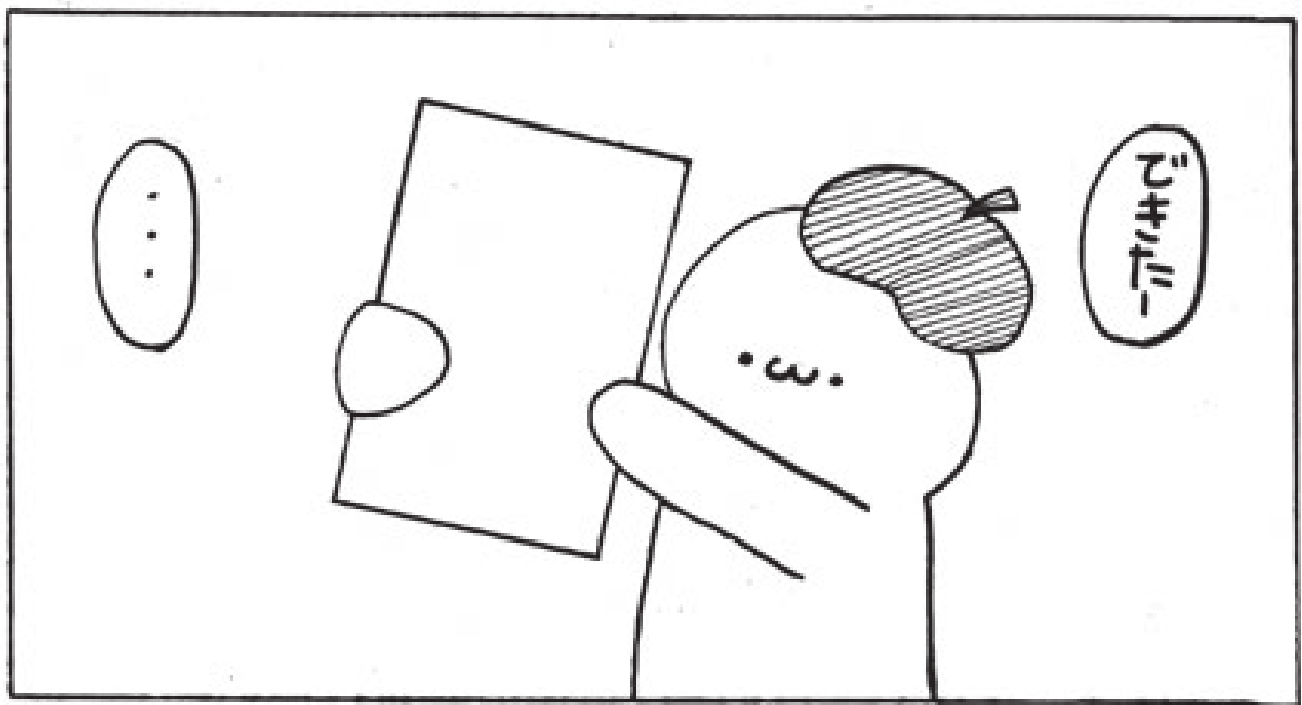








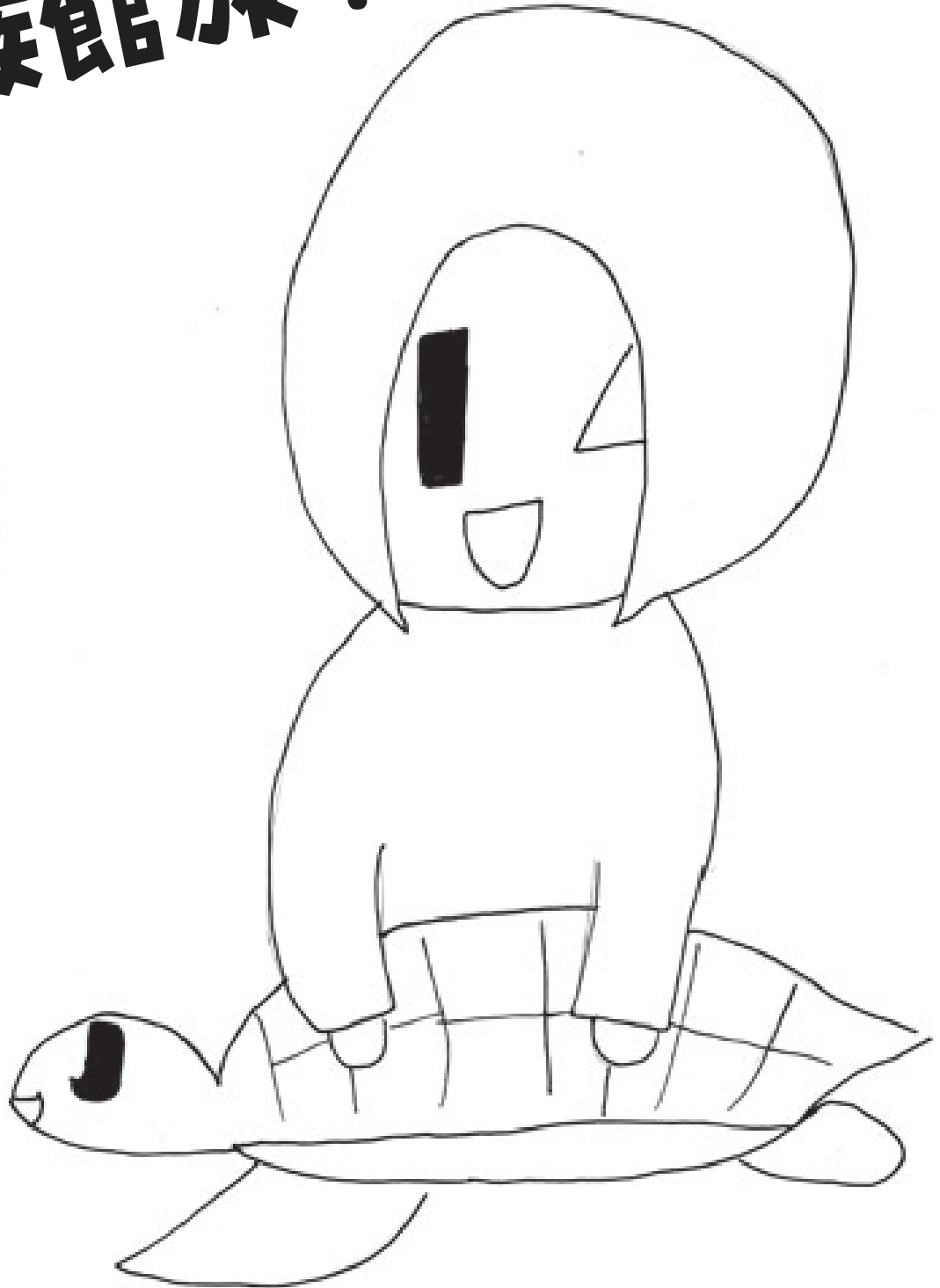
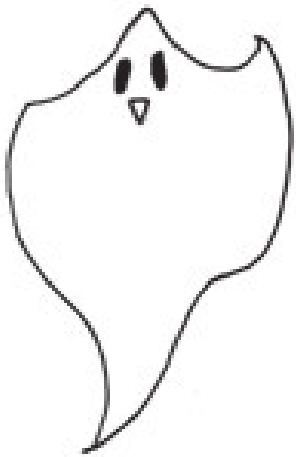
【コメント】タイトルの「沼^{ぬま}」って、そういうことだったんですね。「推し」への愛がよく伝わってきます。「オタクスイッチオン☆」の後の開放感^{あとかいほうかん}が伝わってきました。



【コメント】せっかくなら、ラストのコマで主人公も友達と一緒に盛り上がっちゃってるほうが、より「オタクな心」が伝わってくるかなと思いました。もっともっと自由に正直に描いてもOKですよ。

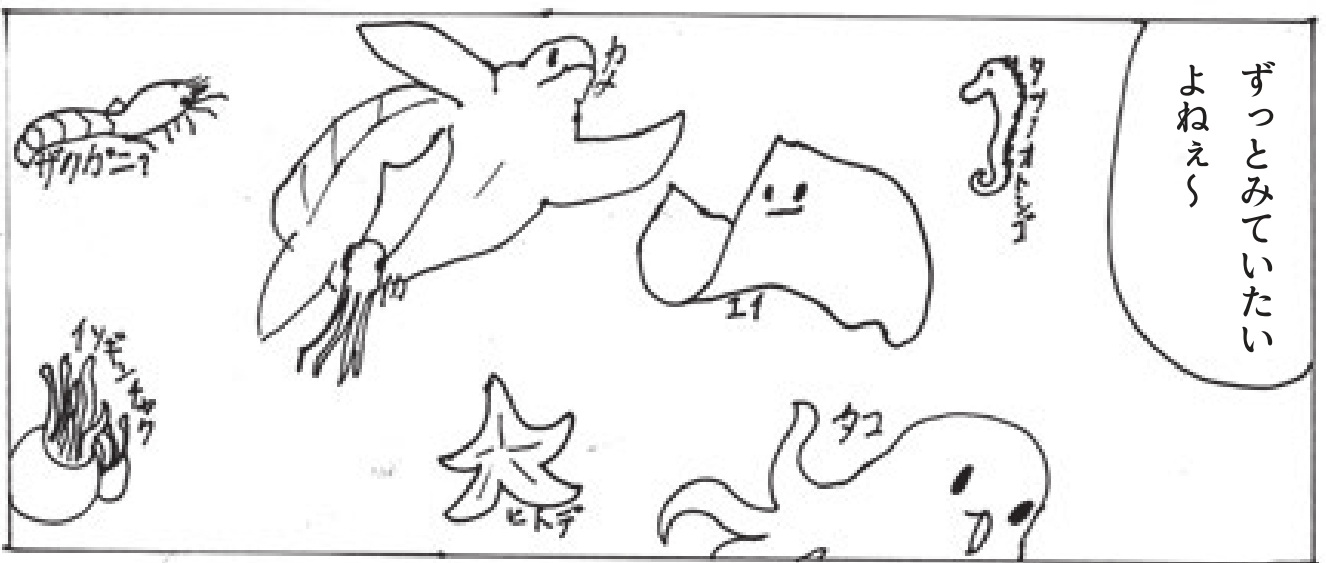
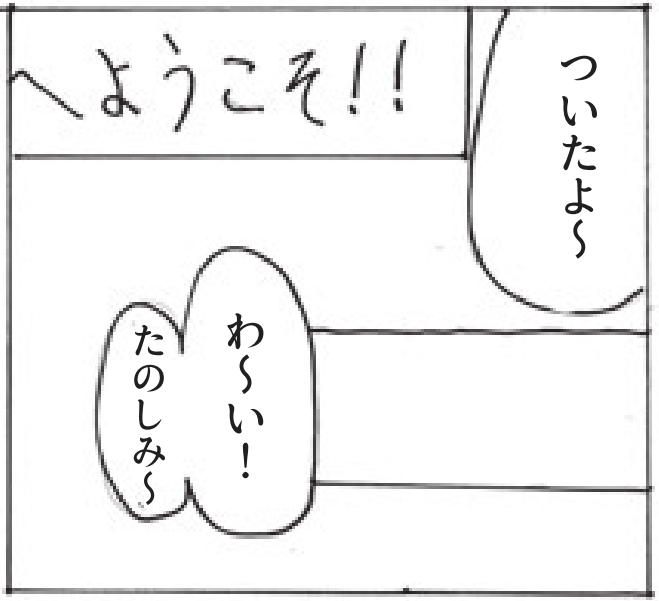
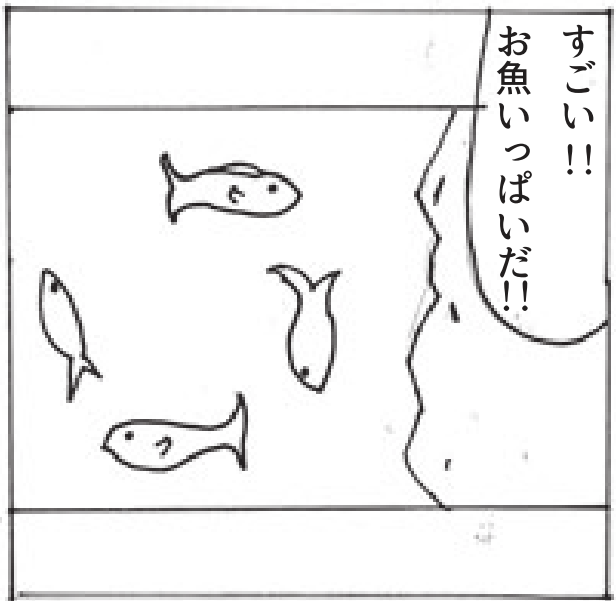
「家族で夢の水族館旅」

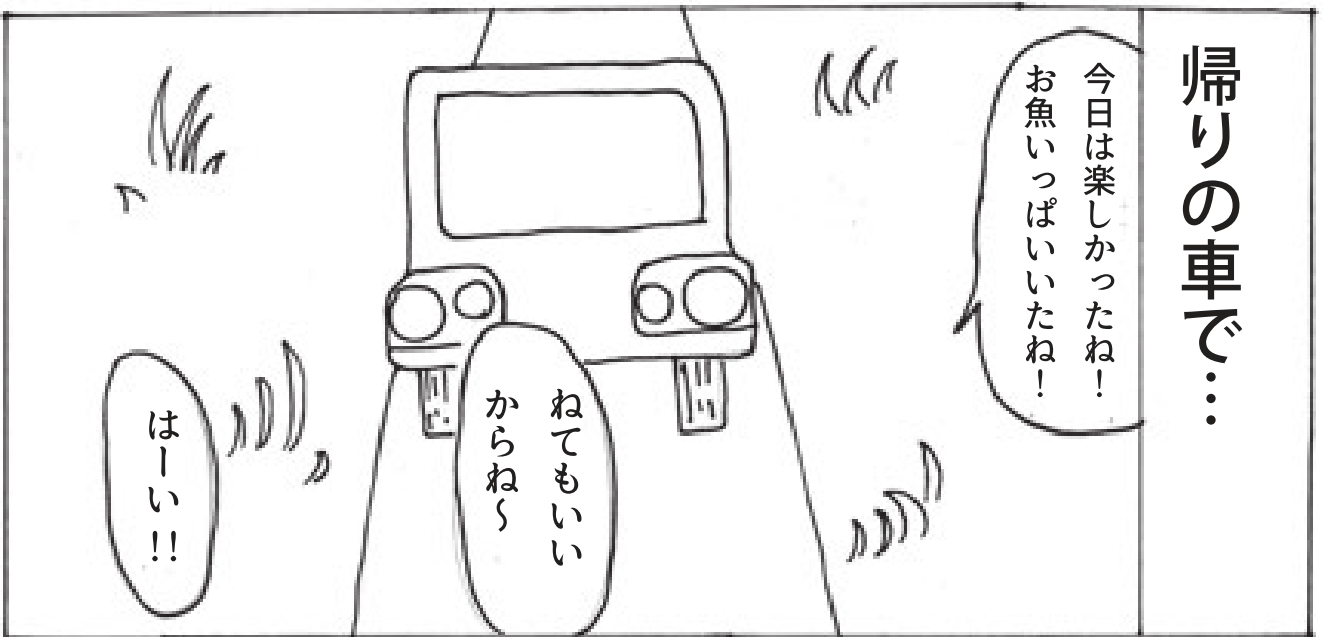
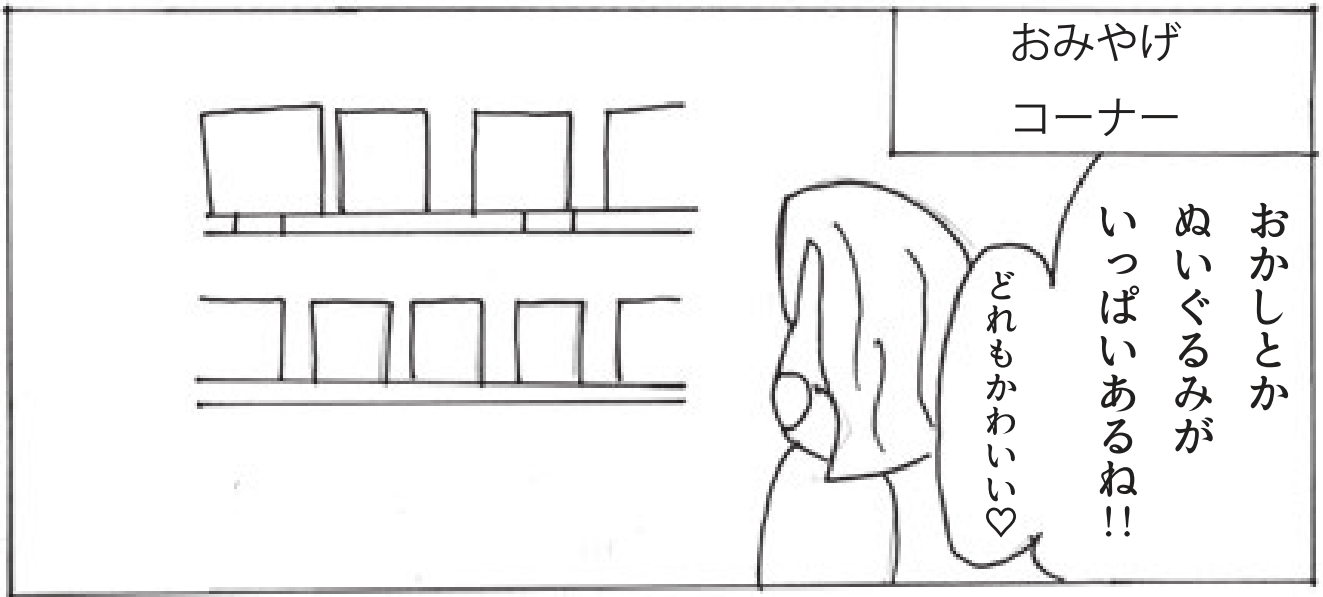
家族で
夢の
水族館旅!!



S

中学生
ストーリーの部







【コメント】^{さいご}最後ダメされました！タイトルにすでに「ヒント」があったんですね。家族での水族館旅行の場面が本当に楽しそうだったので、「夢」だとわかった時は、主人公と一緒に僕もがっかりしました。でも、そのオチのおかげで、きなこプリンさんが、たまに行く「家族旅行」が大好きなんだということが伝わってきました。

「使命ってなんですか」

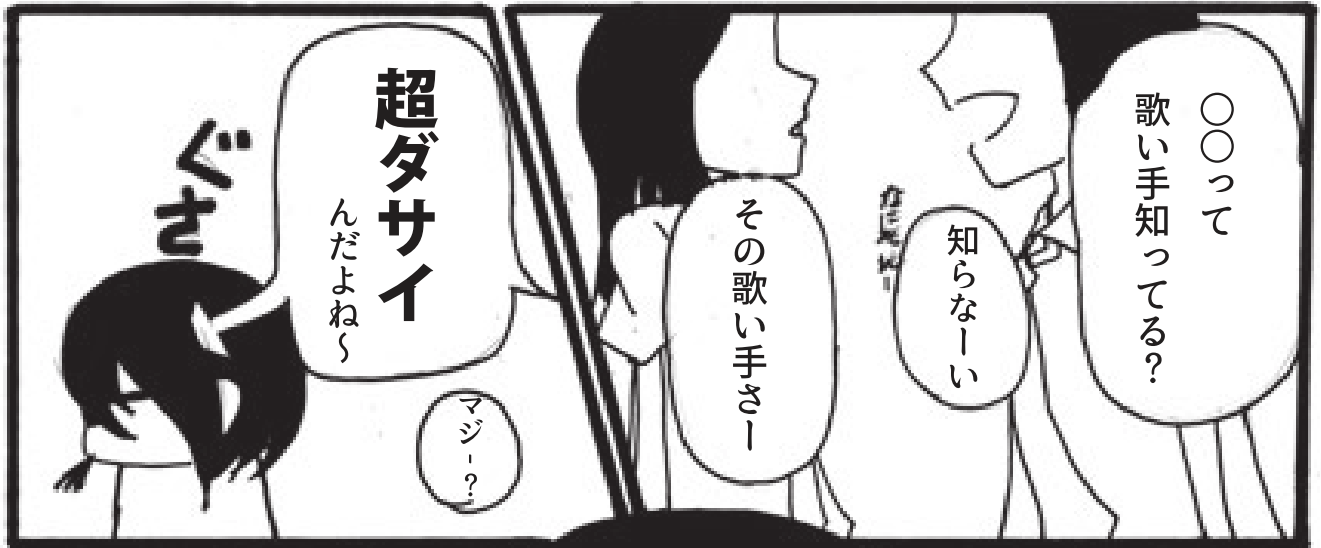
使命って

なんですか



中学生

ストーリーの部





S
中学生
ストーリーの部

本当はみんなに
言って

オタ友
作りたい
でも…

もう
あんな思い
したくない
から

小学校卒業前
「好きな人」
を聞かれて

〇〇っていう
歌い手グループが
好き！私の推しだよ！

××とか

ジャニーズとか
みんな
言ってたから
歌い手の話を
したら…

みんな笑ってた

そして私に向かって
推しの悪口も言ってた
関係ない
男子も入ってた

その時、私は
大泣き



次の日から
私は
ボツチ

中学は少し遠い
学校にした

S
中学生
ストーリーの部

よく思う

私たち（ファン）
の使命って
なんですか

私が考えた
結果

尊い

周りにバレないように
推し続けること
それが私たちの使命

話を振られたら
そうだねって
言った

鈴木さんて
好きなグループ
いる？

聞かれたら
うそをついて
た

いないよー

〇〇ってグループ
だっさいよね！
ね！鈴木さん

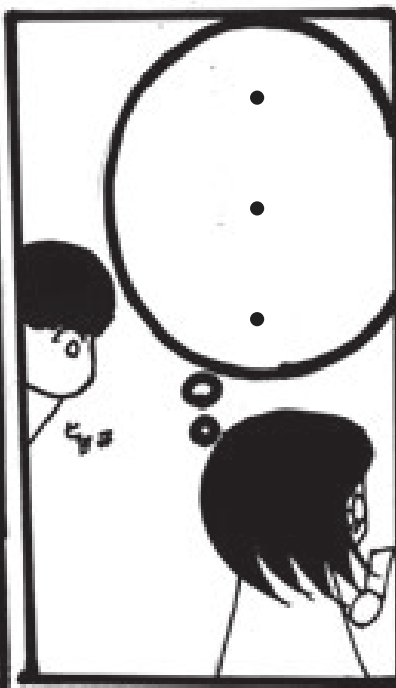
あ・・・
そうだね

は？
お前つぶすぞ？

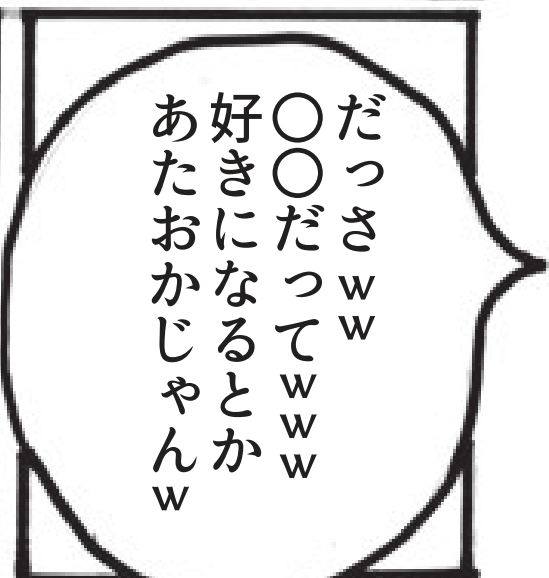
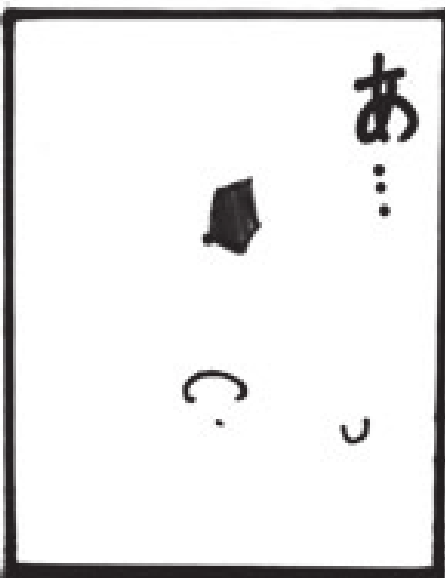
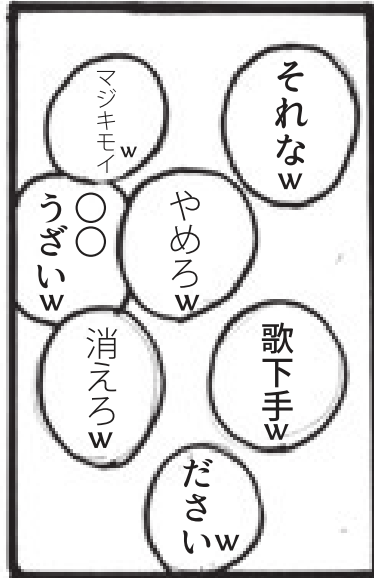
めっちゃくちゃや
いる

S

中学生
ストーリーの部



S 中学生 ストーリーの部



S
中学生
ストーリーの部



S 中学生
ストーリーの部



S

中学生
ストーリーの部



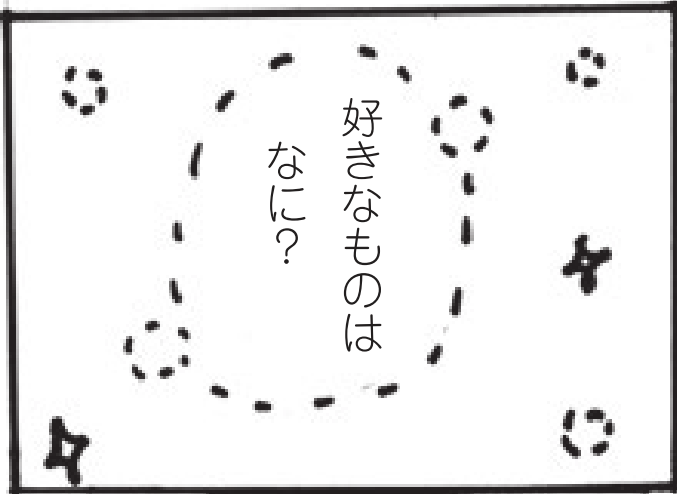
好きなことに
うそを……

え……



はあ!?

私は……



好きなものは
なに?!



私は



キモッ!
頭おかしい!!

ダッサイものに
好きなんて!

S
中学生
ストーリーの部



【コメント】「他人と違う推しが好き」と言えず、悩む主人公が、勇気を持って前に一歩踏み出していく—その心の変化が面白かったです。他人に自分が好きなものを正直に言うことは勇気がいらしますよね。

私の使命



うん!

S

中学生
ストーリーの部

【続き】でも、「^{まわ}りに^あ合わせず、^{じぶん}自分が^す好きなものは好きと言おう！」というコルネさんのメッセージが伝わってきます。キャラクターの絵が全員似ていたので、^{かみがた}髪型を変えるなど差をつけるともっと読みやすくなる^{おも}と思います。